

週報 第3180回

会長 南出 和成 副会長 杉本 憲一・敏野 信
幹事 松村 泰英 SAA 櫻井 善章

例会場 ホテルレイクアルスターアルザ泉大津
TEL 0725-20-1121
例会日時 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 〒595-0062 泉大津市田中町10-7 泉大津商工会議所3F
TEL.0725-21-9500 FAX.0725-21-9501

メールアドレス info@izumiotsu-rc.org
ホームページ http://izumiotsu-rc.org



今週の例会(2022年11月11日)

■ プログラム

クラブフォーラム
瀧谷 達 ロータリー財団委員長

■ 次週のプログラム

11月18日：外部卓話 泉大津商工会議所
青年部会長 藤井 学 様

■ 今後の予定

・11月25日：卓話担当 深井 喜一 会員
・12月2日：クラブフォーラム
今井 克範 職業奉仕担当理事

■ 祝 誕生日

植村 勢彦(17日)
泉谷 仁博(17日)

■ 今月のロータリーソング

我等の生業

今月の歌

もみじ

秋の夕日に 照る山もみじ
こいもうすいも 数ある中に
松をいろいろ 楓や葛は
山のふもとの 裾模様

■ 先週の例会



会長の時間

南出 和成 会長

○10月18日地区ゴルフ大会 入賞報告
○11月5・6日地区大会案内
○読書の秋ですが、以前松内さんの卓話で、フロイト
ユング と並ぶ「心理学の三大巨頭」と称される
アルフレッド・アドラー について話を聞かせてもら
いました。
少し興味がありましたので、その時紹介してもらった
「嫌われる勇気」と言う本を読みました。私から
も、紹介させていただきます。
その前にロータリーに於きましても「決議23・3
4」の中で「ロータリーは基本的には、一つの人生

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3180回

哲学である。」と述べられており、心理学も参考になるのではないかと思います。

日本ではまだ追いついていませんが、欧米では絶大な支持を誇るアドラー心理学は「どうすれば人は幸せに生きることができるか」という哲学的な問いにきわめてシンプルかつ具体的な「答え」を、青年と哲人の対話という形式でまとめた本です。

幾つかのポイント

・アドラー心理学では「トラウマを明確に否定していません。」

心に負った過去の傷(原因)がトラウマとなり、現在の不幸(たとえば、家を一步も出たくない)を引き起こしていると考えます。

ここで、アドラーの心理学では、過去の原因ではなく、今の目的を考えます。

その人は「不安だから、外に出られない」のではありません。順番は逆で「外に出たくないから、不安という感情をつくり出している」と考える。その人は、「外に出ない」という目的があつてその目的を達成するために、不安や恐怖の感情をこしらえている。これをアドラーの心理学では、これを「目的論」と呼ぶ。

御冗談を!と言いたくなる。

我々は原因論の主人公であり続けるかぎり、一步も前に進めません。われわれはトラウマに苦しむのではなく、経験の中から幸せに成る目的にかなうものを見つけ自ら選択決定する。

・「人間の悩みは、すべて対人関係の悩みである。」

・「自由とは、他者から嫌われることである」

・幸せになる勇気には、「嫌われる勇気」も含まれる。

あとがき

トラウマを否定し、原因論を目的論へと転換する。そして、「すべての悩みは、対人関係の悩みである」「人はいまこの瞬間から変えられるし、幸福になることができる」「問題は能力ではなく、勇気なのだ」と喝破する

以上です。

幹事報告

松村 泰英 幹事

○来週11月5日(土)・6日(日)は地区大会です。

出席される方は、お時間間違いのないようによくお願い致します

○来週11月4日(金)は定款の規定により休会となります

委員会報告

○11月27日(日)に開催します、同好会合同企画の「紅葉の大和路ウォーキングと梅乃宿酒造の酒蔵見学」のご案内をさせていただいております。申込み期限が10月31日となっておりますが、まだ参加枠に余裕がございますので、参加される方は出来るだけ早く申込みをお願い致します。(細川 嘉則 同好会幹事)

○本日例会終了後、みやびの間で社会奉仕委員会を行いますので、委員と関係の皆様は、ご出席の方よろしくお願い致します

(川端 徹 社会奉仕委員長)

■ ビジター

なし

■ 出席報告 会員数44名 出席免除1名

月日	出席数	欠席	補充	出席率
10/28	37名	7名	—	86.05%
10/14	35名	9名	4名	90.70%

■ メークアップ

榎本(10/21 ワールド大阪ロータリーEクラブ)
今井(10/7理事役員会)
小野寺、敏野(10/28社会奉仕委員会)

■ ニコニコ箱

・三井様、本日は卓話よろしくお願いいたします(南出)

・本日卓話、泉大津市教育支援センター 三井寛子様、宜しくお願いします(松村)

・三井様、本日はよろしくお願いいたします(櫻井)

・三井様、本日はありがとうございます(藤野)

・皆勤賞をいただきました(榎本)

・欠席のおわび(西端)

・早退のおわび(中)

■ 祝 誕生日



川上 正人 会員(27日) 川端 徹 会員(30日)

■ 地区大会記念ゴルフ大会 入賞者



先週のプログラム

「泉大津市立小・中学校の不登校の現状から」



卓話講師 泉大津市教育支援センター
所長 三井 寛子 様

令和3年度、本市の不登校児童数(欠席日数を30日以上とする)は、小学校在籍児童数約3600名中62名、中学校在籍生徒数約1800名中126名です。

90日以上の欠席は、小学校21名、中学校77名となっています。

IZUMIOTSU ROTARY CLUB 第3180回

コロナの影響もあり、ここ数年、小学生の不登校が増え低年齢化していることが伺えます。実際、教育支援センターへの教育相談もこの2年間は小学生の相談件数が中学生の相談件数を上回っています。

一口に不登校と言ってもその原因は様々な要因が重なっています。そこで、昨年不登校児童・生徒に対する対応チャートを作成し、新任等経験の浅い教員でも不登校に対しての対応ができるだけ経験年数の長い教員と同じようにできるよう取り組んできました。

ただ、コロナの影響や最近「別に学校へ行かなくてもいいよ」というような風潮もあり、不登校児童・生徒の増加は中々止められない現状にあります。

体調が不調になるのに無理をして学校へ行くことではないとは思いますが、休みがちになる初期の段階で関係諸機関の協力も得ながら学校へ行くということを勧めるべきだと思います。社会に出て生きていく上で、義務教育での勉強は基礎になりますし、また、それ以上に学校での友達との関わり…気の合う友達だけでなく、気の合わない人との付き合い方を学ぶのも、とても大切な事です。人とふれあって、経験してこそ得るものは、この歳になってもとても大切だと思っています。

人は人と関わってこそ成長していきます。今の子ども達は、ICTの発達でだでさえ生身の人と関わることが少なくなっています。だからこそ、家に閉じこもっているのではなく、学校で、またそれに変わる居場所で人と関わり生きる力を養って、大きく育ってほしいと願っています。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基盤として奉仕の理想を奨励し、これを育むことにある。

具体的には、次の各項を奨励することにある。

第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

=言動はこれに照らしてから=

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか